

地 域 連 携

Vol.06
September.2023

はびきの Medical Net



地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪はびきの医療センター

Osaka Habikino Medical Center



最新治療と医療機器

- ・FUTURE ロボット支援手術 最新治療
- ・Pick Up 「不顕性骨折を速やかに診断できます」
 「3テスラMRIのご紹介」
- ・セミナーのご案内 第9回はびきの地域連携研修会 ほか
- ・学会報告さるーと WAO(World Allergy Organization)Hawai'i Symposium
- ・はびきのパーソン 医療技術部 医務局
- ・連携医療機関のご紹介 原田耳鼻咽喉科さま ひらたクリニックさま
- ・地域医療連携 NEWS 開腹手術から腹腔鏡下手術へ 鼠径ヘルニアから肝臓癌まで



ロボット支援手術 最新治療

泌尿器科主任部長

福井 辰成

ロボット支援手術とは

一般に腹腔鏡手術は、身体に小さな穴を数か所開け、そこからカメラと鉗子を挿入して、モニター画面を見ながら行います。ロボット支援手術では、医療用ロボット「ダ・ヴィンチ（da Vinci）」を使用し医師がコントローラーを操作して、ロボットアームの先に装着された器具を思い通りに動かしながら腹腔鏡手術を行います。ロボットアームには関節があり、人間の手のように自在な角度で動きます。優秀なデバイスとして機能し、従来の腹腔鏡と比べると、より正確で細かい手術操作が可能であるという特徴があります。ロボットが医者代わりに手術をすると誤解されがちですが、そこまで優秀なロボットは現在まだ実用化されていません。

ロボット支援手術の誕生

ロボット支援手術は、平成2年代にアメリカ陸軍が国防高等研究計画局に開発を依頼したものが起源です。米国本土またはアメリカ海軍の航空母艦に滞在中の医師によって、遠隔操作で戦場の負傷者に対して必要な手術を行うことが目的とされました。

しかし当時の湾岸戦争が予想より早く終結したために開発は軍の関与を離れ、以後民間で開発が続けられ、平成11年に「da Vinci（ダ・ヴィンチ）」が完成しました。平成12年7月にアメリカ食品医薬品局（FDA）より承認され、現在では世界中で広く使用されています。



当センターでの手術の様子

【資格等】

日本泌尿器科学会（専門医、指導医）
日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会
日本癌治療学会（がん治療認定医）
日本透析医学会
日本泌尿器腫瘍学会
日本排尿機能学会
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会



当センターの
泌尿器科の詳細は
こちらより
ご確認できます

ロボット支援手術の保険適用手術

ロボット支援手術は、平成24年4月に前立腺がん摘出術、平成28年4月に腎がん手術（小径腎細胞がんの腎部分切除術）で保険適用となりました。平成30年4月には胃がん、食道がん、直腸がん、肺がん、縦隔腫瘍、膀胱がん、子宮がんなどのほか、弁形成術といった心臓手術が追加され、令和4年4月には合計45件の術式が保険収載されることになりました。

当センターにおけるロボット支援手術

令和5年5月新病院移設とともにロボット支援手術が可能となりました。8月末までの3か月の間に泌尿器科で行った、もしくは予定されている術式は、前立腺全摘除術12例、腎部分切除術2例、膀胱全摘除術1例であり、また当センターでは呼吸器外科や産婦人科でもロボット支援手術を行っています。

（令和5年9月発行時点では、当センターでの前立腺がんはすべて、腎がんについては、部分切除術をロボット支援手術で行っております。）

これからも低侵襲で最新のロボット支援手術を提供したいと思います。



サージョンコンソールを操作する術者



01 不顕性骨折を速やかに診断できます Dual energy CTを導入しました！



整形外科 副部長
谷内 孝次

当センターは令和5年5月に新病院に移転しました。
移転に伴い、画像診断機器もリニューアルいたしました。

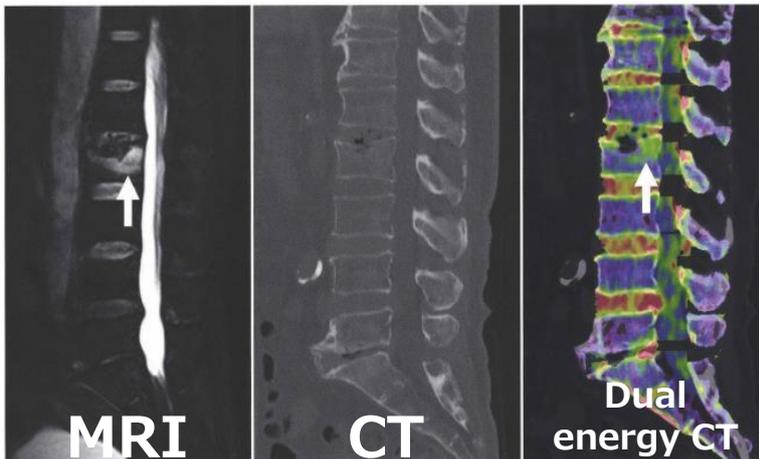
骨折には2通りあり、通常の骨折はレントゲン、CTで診断するのですが、それでは診断できない骨折を不顕性骨折といいます。

不顕性骨折は特に御高齢の患者さんでは稀ではありません。その場合には背部や四肢に強い痛みがありながら原因がわからず、MRI検査をして初めて診断されることになります。MRIは最も優れた診断機器ですが、欠点が3つあります。

- ①予約が数日先になることが多い
- ②検査中20分程度じっとしていなければならない
- ③心臓ペースメーカーや金属インプラントが入っている方には撮影できないことがある の3点です。

その欠点を補うのが、Dual energy CTです。骨折の診断精度が、下図のように通常のCTよりも高まっています。予約がMRIよりも入れやすい、体内インプラントがあっても撮影できる、20秒程度で撮影できる、といったMRIにはない長所があります。

骨折が疑われる患者さんで、地域の医療機関においてレントゲン診断が困難な場合は、当センター整形外科をご紹介頂ければと存じます。詳しくは当センター地域医療連携室(072-957-8030 平日 9:00~17:30)にお問い合わせください。



共同利用について

なお検査予約の方法につきましては、当センターホームページの「地域医療連携室」をご覧ください。

 **地域医療連携室**
072-957-8030
(平日 9:00~17:30)

ご予約に関しまして、ご不明な点等ありましたら、お手数をおかけいたしますが、お気軽に地域医療連携室までお問い合わせください。

02

3テスラMRIのご紹介

高い磁場性能による画質の向上やAI技術の搭載により
画像診断に必要な情報を十分に提供できる装置です



放射線科 診療放射線技師 主任
西村 健太郎

いつも大切な患者さんをご紹介いただきありがとうございます。

当センターは新病院の開院に合わせて3.0T（テスラ）MRIを導入いたしました。3.0テスラMRIは、高度な磁気共鳴イメージング（MRI）技術を使用できる機器であり、高い磁場強度を用いて身体の内部を詳細に観察するための画像診断装置です。この革新的なMRIシステムは、従来の1.5テスラMRIと比較してより高い信号強度を提供し、画像の品質や解像度を向上させることができます。主な特徴は次のとおりです。

- ◆ 解像度の向上：3テスラの高い磁場強度により、画像の解像度が大幅に向上し、微細な組織構造や病変を鮮明に観察できます。AI技術の搭載でより高画質化が図れます。
- ◆ 軟部組織コントラストの改善：軟組織間のコントラストが向上し、臓器や組織の異常を容易に識別できます。
- ◆ 非侵襲的：放射線を使用しないため、患者さんへの被ばくは無く、安全性が高いです。

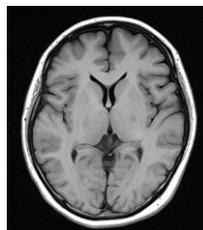
当センターでは3.0テスラMRIを主に頭部、乳房、上肢や下肢の関節、前立腺などの部位に適用しています。特に動きの少ない部位に対しては高い能力を発揮します。

以上のように3テスラMRIは現代の医療・画像診断において欠かせない機器となっております。地域の先生方にもより身近にご利用いただけるよう検査を受け付けております。ご活用いただくと幸いです。

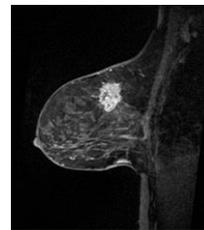
※共同利用につきましては、お手数ですが地域医療連携室(072-957-8030 平日 9:00～17:30)までお問合せください。



3T 磁気共鳴画像診断装置 (MRI)
シーメンス製 MAGNETOM Vida



T1_flair image



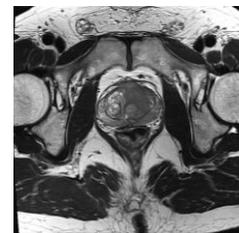
Mammography Dynamic
(Sagittal)



膝関節
T2WI Coronal



脳血管 MRA



前立腺 T2WI

セミナーのご案内

10月開催予定

◆ 第9回はびきの地域連携研修会を開催します

日時：令和5年10月20日(金) 18:00～19:00
WEB開催(ZOOM)

【講演】

「間質性肺炎について」 18:05～18:40
大阪はびきの医療センター 呼吸器内科主任部長 森下 裕

「オフエブのトレーシングレポートについて」 18:40～18:55
大阪はびきの医療センター 薬局 薬剤師 和田 宜久

申し込みサイト：

<https://zoom.us/meeting/register/tJAlceqqpzstHtMtJnACFBphRKkpfKY9xEi9>

こちらのQRコードから
申し込みできます。
(当日参加可)



◆ はびきのDチャンネル episode14 を開催します

令和5年10月26日(木) 14:00～15:00
ご紹介する症例などは、同封のチラシをご覧ください。

10月以降開催予定

◆ 第11回はびきのアカデミー 令和5年秋予定

◆ 第6回はびきの耳鼻咽喉科セミナー

令和5年12月2日(土)予定

開催しました

◆ 栄養士のための大阪食物アレルギー研究会 第8回夏期研修会

日時：令和5年8月19日 13:50～16:30

場所：大淀コミュニティセンター 1階ホール

参加者：130人

内容：主に栄養士を対象とした研修会を行いました。

◆ 中河内・南河内地域救急医療勉強会

日時：令和5年8月22日(ハイブリット開催)

参加者：79名(現地：14名、WEB：65名)

内容：中河内・南河内地域の消防組合・消防本部を対象に勉強会を行いました。

◆ はびきのDチャンネル episode13

日時：令和5年8月24日 14:00～15:00(WEB開催)

院外参加者：16名

内容：プライマリケアにおける皮膚科診療のTips
(6つの症例をご紹介しました)

学会報告 さるーと



WAO(World Allergy Organization) Hawai'i Symposium



令和5年5月18日～5月20日

アメリカハワイ島コナ近郊で開催されたWAO(World Allergy Organization/世界アレルギー機構)Hawai'i Symposiumで小児科の高岡先生が「エビの経口負荷試験における有用性と安全性」、中竹先生が「スギの舌下免疫療法によるアナフィラキシーの1例」を発表いたしました。

小児科 副部長 高岡 有理

「エビの経口負荷試験における有用性と安全性」

小児科では食物アレルギー診療の向上を目的として、関西の病院や大学と「近畿食物チャレンジネットワーク」を結成しており、その共同研究の成果を発表しました。

小児のエビアレルギーでは腹部や口腔症状が中心で、エビ特異的IgE値が陽性でも接種可能な場合も多くみられました。今後も小児科ではより安全な経口負荷試験を目指していきます。



小児科 レジデント 中竹 俊伸

「スギの舌下免疫療法によるアナフィラキシーの1例」

この度、令和5年5月18日から20日に行われたWorld Allergy Organization(WAO)の学会で発表を行わせていただきました。

会場内では英語のみの会話であり、コミュニケーションを取るのに苦労しました。

しかし、アレルギー疾患をはじめとする医療においては疾患概念や苦労する点については世界共通であることを肌で感じることができました。



医療技術部 臨床検査科
技師

安永 早希

YASUNAGA SAKI

私のふるさと

臨床検査技師の安永と申します。

今回は私の生まれ育った熊本県についてご紹介します。
自然や緑に触れて感動するようになってきた、今日この頃。雄大な大地が広がる阿蘇を満喫してきました。



阿蘇には世界有数の規模を誇るカルデラがあります。大観峰から望む阿蘇五岳は、お釈迦様の寝姿に見えることから涅槃像と呼ばれています。この景色を見ながら食べる、ジャージー牛乳を使ったソフトクリームは格別です。



また、乗馬もすることが出来ます。いちばん美しい動物は？と聞かれたら馬と即答するくらい、夢だった乗馬体験。馬とコミュニケーションを取りながら、草原の中を散策しました。またこの自然を感じるために阿蘇を訪れたいと思います。



医務局 呼吸器内科
診療主任

細野 裕貴
HOSONO YUKI

インコ百まで飼い主忘れず

令和5年4月よりはびきの医療センターに赴任しました、呼吸器内科 診療主任の細野と申します。

市中病院、刀根山病院、阪大病院と、いろんな職場を経験してきました。これまでの経験を大阪はびきの医療センターでも活かしたいと思います。

実家で昔から飼っているオカメインコに会うのが癒しの一つになっています。今は月に1回くらいしか会えないですが、帰省するとすぐに寄ってきてくれて、小さな鳥頭でも忘れず覚えてくれているのは嬉しい限りです。鳥飼病（過敏性肺炎）という疾患があることは職業柄もちろん知っていますが、遠慮なくインコと戯れます。ちょっかいを出しすぎると、怒ってどこか行ってしまいます。しかし、忘れてすぐに戻ってきます。実家から帰るときは、いつも少し寂しそうです 笑



帰省すると嬉しそう



なでなでされるのが好きです



肩でも寝ます

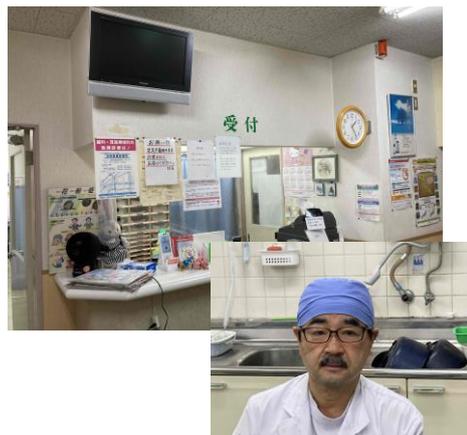
当センターでは、個性豊かなスタッフがそれぞれのセクションで明るくがんばっています。今後とも「はびきのパーソン」コーナーで紹介していきますので、少しでも当センターのスタッフに親しみを持っていただくと幸いです。

連携医療機関（登録医）のご紹介

原田耳鼻咽喉科

〒583-0886
大阪府羽曳野市恵我之荘三丁目1番7号 カツラビル3階
電話:072-953-7384 URL:<https://harada-jibika.jp/>

当院は平成8年に羽曳野に開業し、地域の皆様の健康増進に取り組んでまいりました。
耳鼻科一般の診療、その中でも特にアレルギーとめまいの治療に力を入れております。また上気道を中心とした一般感染症の診療も行っております。
これから『患者様に寄り添った診療』をモットーに、患者様にお気軽にご相談いただけるクリニックづくりを目指してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30~12:30	○	○	/	○	○	○	/	/
15:30~19:30	○	○	/	○	○	/	/	/

土曜AMのみ 臨時休診あり 休診日：水曜 日曜 祝日

ひらたクリニック

〒583-0853 大阪府羽曳野市栄町5-3 アスキコート1階
電話:072-950-0801 URL:<https://hira-cli.com/>

こんにちは。
私たちは、「患者様 ご家族の皆様に寄り添った医療を行う」ということを理念に診療を行っています。
麻酔を用いた苦痛のない胃カメラや大腸カメラ検査、超音波検査を通じて、予防や早期発見を行えるように質の高い医療を提供します。
総合内科専門医としても、高血圧や糖尿病などの様々な病気にも対応させていただきます。
困った時にここに受診すれば大丈夫！安心できる！と評価してもらえるクリニックを目指していますので、引き続きよろしくお願いたします。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:40~12:00	○	○	/	○	○	○	/	/
12:30~15:30 (予約検査枠)	★	★	/	★	★	★	/	/
16:10~19:00 (最終受付時間18:30まで)	○	○	/	○	○	/	/	/

休診日：水曜・土曜午後・日曜・祝日



↑地域医療連携室
の詳細はこちら

◆登録医のご申請のお願い◆

地域医療支援病院である当センターでは、地域の医療機関と当センターが協力のもと相互の機能を有効に活用し、診療情報の交換などによって医療連携を深め広げることにより、地域全体として患者さんにとってより質の高い医療を提供していくことを目的として登録医制度を実施しています。ぜひ登録をお願いいたします。ご質問や登録ご希望の先生方はお手数ですが地域医療連携室までご連絡をお願いします。

ご登録いただけますと、

1. ご紹介いただいた患者さんに入院が必要な場合は開放病床をご利用
2. 今後の研修や勉強会のお知らせはもちろん、
3. **過去の研修、勉強会の動画も閲覧いただくことが可能です。**



消化器外科 主任部長 宮崎 知

【資格等】

日本外科学会専門医・指導医
日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医
臨床研修指導医 面接指導実施医

開腹手術から腹腔鏡下手術へ 鼠径ヘルニアから肝臓癌まで

当科は消化器外科専門医資格を有する5名で診療に行っています。悪性疾患は原則的に専門臓器別に診療を行っています。特殊な手術は大阪大学消化器外科教室から支援をいただき、患者さんに安心して手術を受けていただけるよう体制を整えています。また、婦人科、泌尿器科と連携して南河内地区の腹部救急疾患にも対応しております。

特に当科では新病院開業前から腹腔鏡下手術に力を入れてきました。腹腔鏡下胆嚢摘出術が30年以上前に日本で行われ、虫垂炎、胃癌、大腸癌等の消化器疾患に対しては一般市中病院でも広く普及しています。当科では、大腸癌は肺・肝転移があっても腹腔鏡下手術を行い、術前術後に化学療法を行う集学的治療を行っています。鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、食道裂孔ヘルニアに対しても令和3年から導入し、令和4年からは胆嚢癌や肝臓癌にも腹腔鏡手術を導入しました。

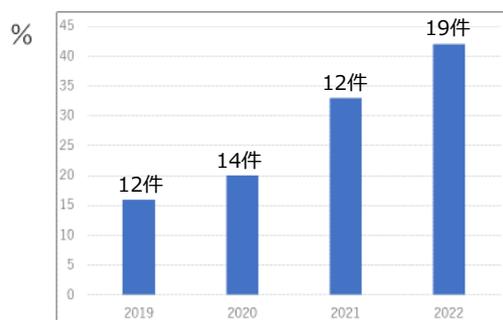
腹腔鏡手術の患者に於ける最大のメリットは傷が小さく、術後の疼痛が少なく、早期離床、早期の食事の開始が可能で早期の退院、社会復帰につながります。

鼠径ヘルニアは従来の前方アプローチでは再発も稀ならず認められ、再手術時には癒着等にて再建に難渋することも少なくありません。このような症例に対する腹腔鏡下のヘルニア修復術では癒着もなく再建も比較的容易です。

本年度からはダ・ヴィンチによるロボット手術の準備を始めています。上述した症例がありましたら御紹介よろしくお願いいたします。



鼠径ヘルニアにおける
鏡視下手術（TAPP）の割合



◆受診についてのお願い◆

◆紹介状をお持ちの患者さんは事前予約に関わらず患者総合支援センター（地域医療連携室）ですべて対応し、スムーズに診察を受けていただけるようご案内いたします。

* 紹介状をお持ちであっても予約がない場合は、診察待ち時間が長くなることや当日受診できない場合もありますので、可能な限り事前に診察や検査の予約（地域予約）をしていただきますようお願いいたします。

* 呼吸器内科、肺腫瘍内科は完全予約制となっております。
（事前ご予約なしの当日受診はできませんのでご了承くださいませようお願いいたします。）

* 皮膚科、アレルギー・リウマチ内科、感染症内科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、
歯科口腔外科の受診には紹介状が必要となっております。



公式LINEはじめました!

当センターの情報を発信いたしますので、是非ご登録ください。
右にあるQRコードを読み取るか、LINEアプリの「友だち追加」からID「@ohmc」を検索して追加をお願いいたします。



地域医療支援病院として紹介・逆紹介をさらに推進してまいります

私達は、最新の医療水準で、最適な医療サービスを、思いやりの心をこめて提供します。



地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター

〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1

TEL : 072-957-2121(代)

<院内診療科のご案内> (令和5年9月現在)

呼吸器内科、肺腫瘍内科、感染症内科、アレルギー・リウマチ内科、循環器内科、消化器内科
糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、乳腺外科
産婦人科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、泌尿器科、整形外科、眼科
歯科口腔外科、麻酔科(高内 裕司)、集中治療科、救急診療科、画像診断科、放射線治療科
臨床検査科、リハビリテーション科、緩和ケア科、外来化学療法科、病理診断科

ホームページ



Facebook



Instagram



Official LINE

